

モウかる楽農経営体の育成支援

ねらい

酪農家戸数は、高齢化等の要因により10年前と比べると半減しているが、一戸あたりの飼養頭数は増加傾向にあります。一方、酪農業界は、乳業メーカーの新工場整備、酪農協同組合による牛繁殖受託施設が運用開始され、県内酪農を取り巻く環境は大きく変化しています。

生乳の安定生産に向けて、牛群検定成績の活用、自給飼料の生産等、生産コストを削減し、儲かる酪農経営体の育成支援を図ります。

活動地域・対象

活動地域：県内全域

対象者：酪農家

普及活動の目標

生乳生産量 9,000kg/頭・年

目標に向けた活動概要

○畜産農家の経営状況把握

- ・県内の酪農家を戸別訪問し、課題・問題点の聞き取りを行いました。
- ・畜産研究課、酪農協同組合、支援センターと情報共有し、支援内容について検討しました。

○生乳の安定性生産に向けた検定成績等の活用

- ・支援センター、畜産研究課、畜産協会、家畜改良事業団と連携し、研修会を開催しました。

○構築連携に適した飼料作物作付生産体系の検討

- ・飼料用トウモロコシの展示ほを設置、検討会を開催しました。



牛群検定成績研修会



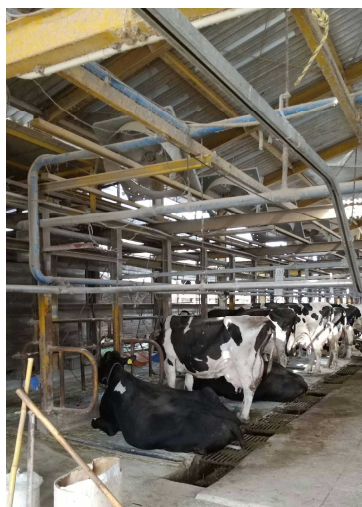
専用収穫機の開発試験風景

普及活動の成果

○経営状況の把握のため、個別巡回・検討会を開催した結果、近年の異常気象、特に夏期の高温が乳牛の受胎率の低下を招き、酪農経営に与える影響の大きさが把握できました。このことに対して、畜産研究課、支援センターと連携し、扇風機増設の効果について情報共有できました。

○月一回牛群検定成績研修会を開催し、検定成績データの見方、これを分析し、経営改善に繋げる考え方の理解が進みました。

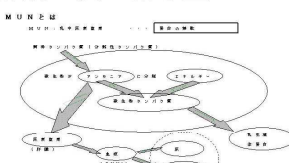
○飼料用トウモロコシ（イアコーン）の栽培系統、専用収穫機について周知ができました。



乳牛番号	乳量	乳成分	MUN	その他
00000001	10.5	3.8	25	
00000002	11.2	3.9	26	
00000003	10.8	3.7	24	
00000004	11.5	4.0	27	
00000005	10.9	3.8	25	
00000006	11.1	3.9	26	
00000007	10.7	3.7	24	
00000008	11.3	4.0	27	
00000009	10.6	3.6	23	
00000010	11.4	4.1	28	

牛群検定成績表

乳成分と麦の給与量



- ①乳脂率↓乳蛋白↓MUN↓ → 麦↑配合↑
- ②乳脂率↓乳蛋白↓MUN↑ → 麦↑配合→
- ③乳脂率↓乳蛋白→MUN↑ → 麦↑配合→

指導資料

暑熱対策

用語説明 牛群検定成績とは、酪農家において月一回乳量、乳成分を測定、繁殖成績とあわせて集計・分析したデータ。

今後の発展方向

酪農家の経営は、飼料価格上昇により非常に厳しいことから、モウかる酪農経営体育成に向け、活動を続けて参ります。

関係者からの声

関係者・関係団体

- ・研修会の効果はすぐには現れないが継続し、横への広がりをお願いしたい。

農家

- ・検定成績を経営改善に少しでも活かしたい。今後も研修会を続けて欲しい。
- ・夏期の繁殖成績改善のための暑熱対策が必要だ。

高度技術支援課 連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922